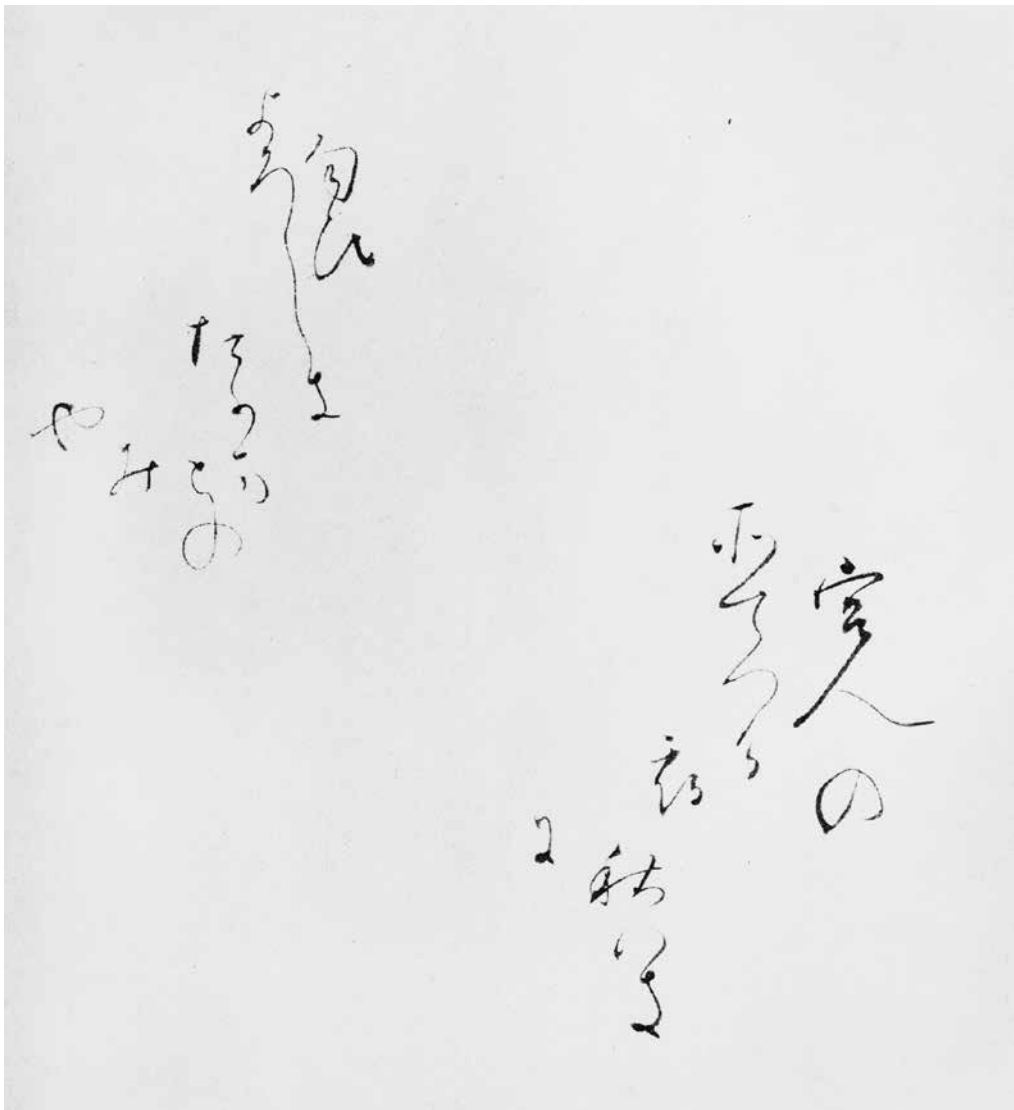


規定課題

(会友・準会友) 月例課題  
(八段〜六段) 昇格・昇段課題

(原寸)



※左の『とよのとし』の「宮人の」から「とのみや」までをペンで臨書しなさい。※用紙はよこにして使用すること。

〈原文〉

みやびと  
宮人の  
所てつ介  
衣  
秋八支  
爾

〈読み〉

みやびと  
宮人の袖付け衣  
秋萩にほひ宜しき  
高円の宮

句ひ  
よろし支  
た可万  
との  
み  
や

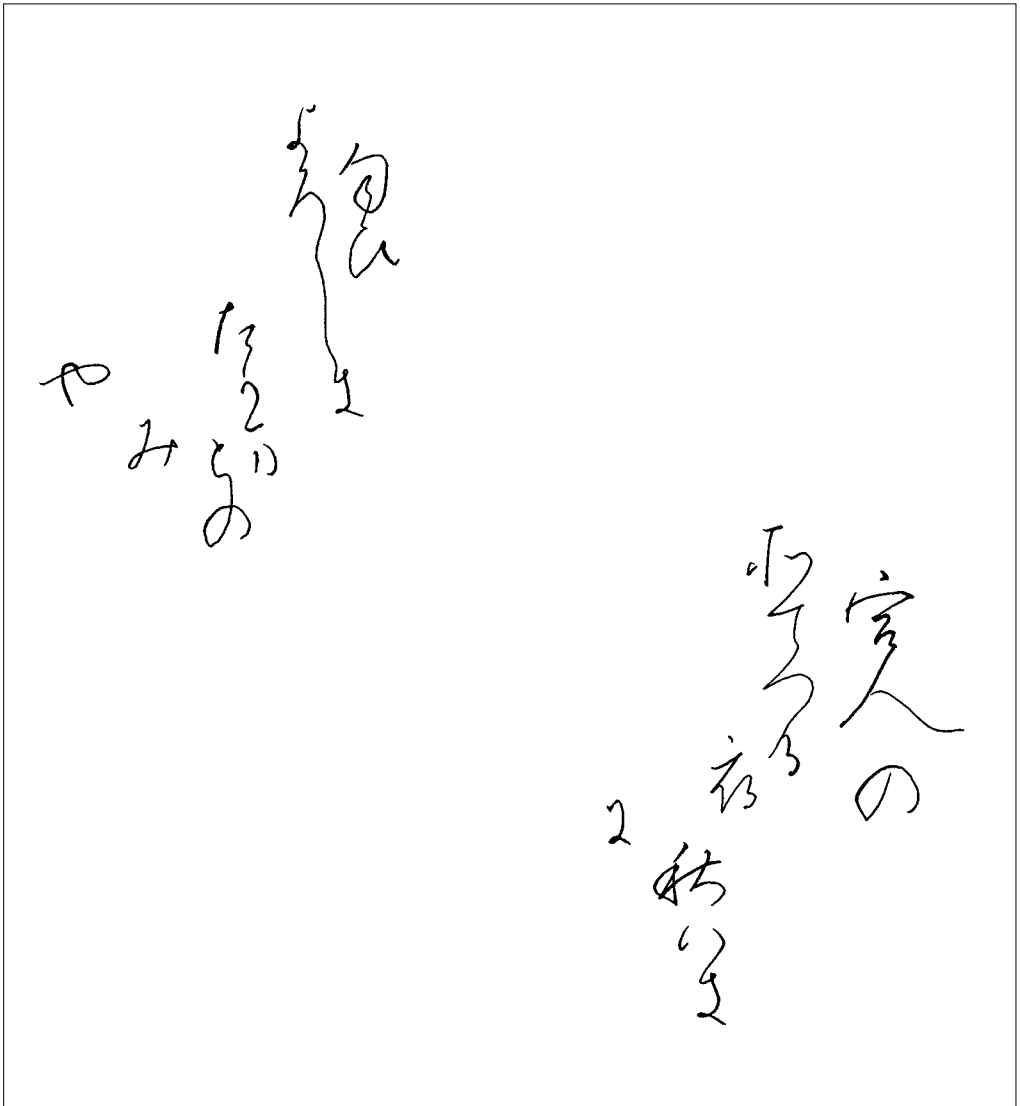
〈大意〉

大宮人の袖付け衣が秋萩色に照り映えて  
美しい高円の離宮であることよ。

(参考手本は次ページ)

〈出典〉

尾上柴舟(二八七六年〜一九五七年)  
『とよのとし』より  
万葉集卷第二十 四三二五

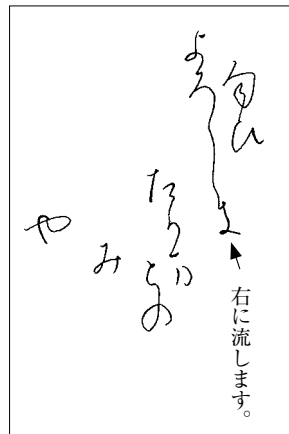


宮田 須美子 臨

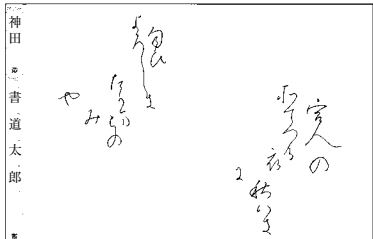
(つけペン)

〈解説〉

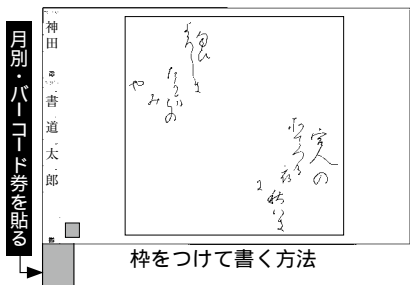
○書き始めを下に、後半を上にと散らし書きに  
なっています。それぞれが長くなりすぎない  
ようにまじめましよう。



用紙の使い方



枠なしで書く方法



枠をつけて書く方法

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色 用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

◆次号課題予告◆大唐三蔵聖教序 太宗文皇帝製 蓋聞二儀有象顯 覆載以含生四時  
(課題は変更することがあります。)

# 専攻コース

## 規定課題

(五段〜初段II昇段課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書

(つけペン)

### 〈読み〉

ながく庄内平野を転々としながらも、わたしはその裏ともいへば、肘折の溪谷にわけ入るまで、月山がなぜ月の山と呼ばれるかを知りませんでした。

### 〈出典〉

森 敦『月山』

### 〈解説〉

文中の溪の最後は天でなくて夫で、横画からつき出ること。間違いやすいですから注意しましょう。旧字体は内・轉・溪になります。

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

ながく庄内平野を転々としながらも、  
わたしはその裏ともいへば、肘折の  
溪谷にわけ入るまで、月山がなぜ月の  
山と呼ばれるかを知りませんでした。

旧字体	筆写体
内	
轉	轉
溪	

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色  
用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）

### ◆次号課題予告◆

小樽の港のまわりを三方から取り巻いている山々の雑木の葉は、十月の末ころ、寒い夜が一夜二夜すぎると鮮明な赤と黄に変わった。

（課題は変更することがあります。）

# 専攻コース

## 規定課題

（1級 || 昇段課題 || 2級 ~ 5級 || 月例課題）

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪 春 書

（つけペン）

秋来ぬと目にはさわ

かに見えぬども風の

音にぞ驚かれぬる

〔読み〕 秋来ぬと目にはさわかに見えぬども風の音にぞ驚かれぬる  
 〔出典〕 藤原敏行（生年不詳）九〇一年または九〇七年  
 〔大意〕 秋が来たと目にははっきり見えないけれど、耳に聞く風の音には、さわやかにそれと感じられる。

〔解説〕 漢字は、かなよりも大きく書きます。中心を通し、筆脈に留意して伸びやかに書いてください。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色  
 用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

### 〈解説〉

〈いろいろな書きぶり〉

風 風 風 驚 驚 驚 音 音 音

馬 上

〈連綿の注意点〉

※次の一画まで力をぬかずにつける  
 止まらない  
 止まる  
 なめらかに  
 右よりに

◆次号課題予告◆ 馬追虫の髭のそよるに來る秋はまなこを閉じて想ひ見るべし（課題は変更することがあります。）

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

小島 鳳 洽 書

(デスクペン)

原文 悠然見南山 意興秋氣高  
読み 悠然として南山を見る 意秋氣と高し  
作者 蘇軾(一〇三七〜一一〇二)

大意 悠然として南山を望見する、その人柄は秋  
気の如く清くして高い。

解説 今月は五字句を二行に配しました。(結  
体の似ている字が横に並ぶことを避け  
ました。)天地、左右に余白をつけて書  
きましよう。

ペン先の弾力と指先の動きをしなやかに  
にすることが大切です。

遅速はつけますが、楷行どちらもなる  
べくゆつくり丁寧に運筆しましょう。

用具 万年筆またはデスクペン(ボールペンは不  
可)、インクは黒色

用紙 べんの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って  
出品してください。



〈解説〉

点画の分間に注意  
(細部の○印は省略)



◆次号課題予告◆ 荒城秋草満 古樹野藤垂 (課題は変更することがあります。)

# 基礎コース

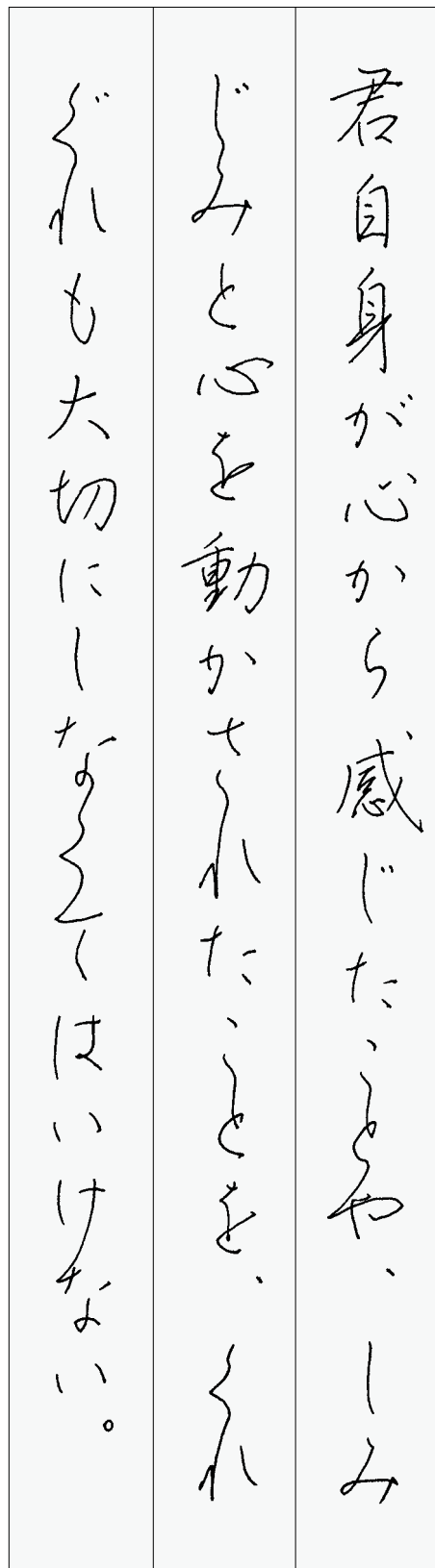
## 規定課題

(五段〜初段II昇段課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

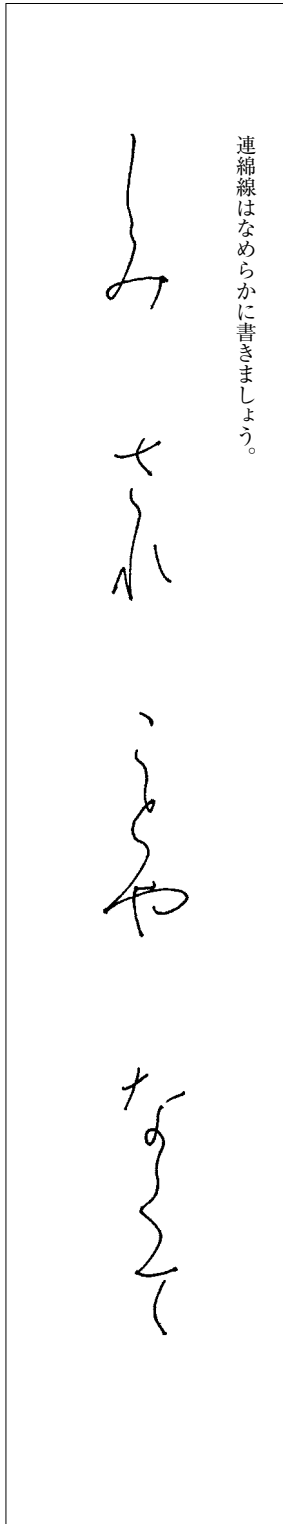
宮田 須美子 書

(デスクペン)



### 〈解説〉

連綿線はなめらかに書きましょう。



〈読み〉 君自身が心から感じたことや、しみじみと心を動かされたことを、くれぐれも大切にしましょ。  
なくはない。

〈出典〉 吉野源三郎『君たちはどう生きるか』

〈解説〉 ひら仮名が多いので二字・三字連綿で書きました。方向を定めて急ぎすぎないように書きましょう。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペンも可 インクは黒色  
用紙 ペンの力用紙3行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

◆次号課題予告◆ 智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。(課題は変更することがあります。)

# 基礎コース

## 規定課題

(1級〜5級昇段課題)  
(2級〜5級月例課題)

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤玲子書 (デスタクペン)

住み慣れれば、どんな所でも自分の  
住んでいゝ所が一番よい。

↑ここに貼る↑  
月別・バーコード券

<p>点をつなぐ 住み慣れれば、どんな所でも自分</p> <p>最後の画をつなぐ やわらかにつなぐ</p>	<p>丸くしない あける 住んでいゝ所が一番よい。</p>
---	---------------------------------------

〈読み〉 住み慣れれば、どんな所でも自分の住んでいゝ所が一番よい。 〈出典〉 『故事ことわざ・慣用句辞典』(ことわざ 住めば都)  
〈解説〉 漢字はひらがなよりやや大きく、背の高さもそれぞれ不揃いにならないようまとめましょう。

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

用具 つけペン、万年筆またはデスタクペン、ボールペンも可 インクは黒色 用紙 ペンの力用紙2行書き

◆次号課題予告◆ あることに夢中になっていると他を顧みず道理を失う。(課題は変更することがあります。)

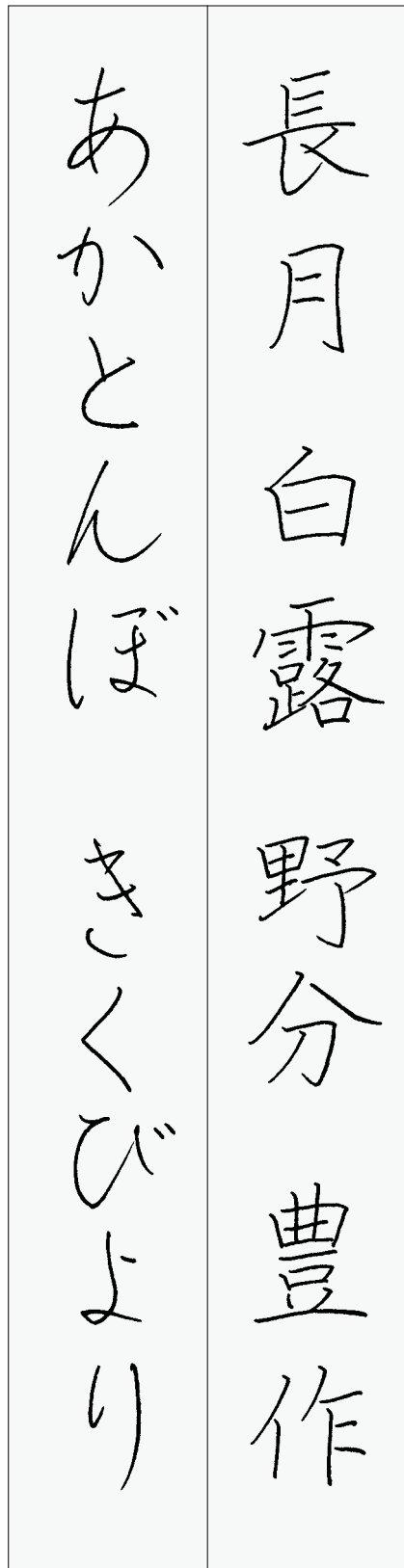
基礎コース

規定課題

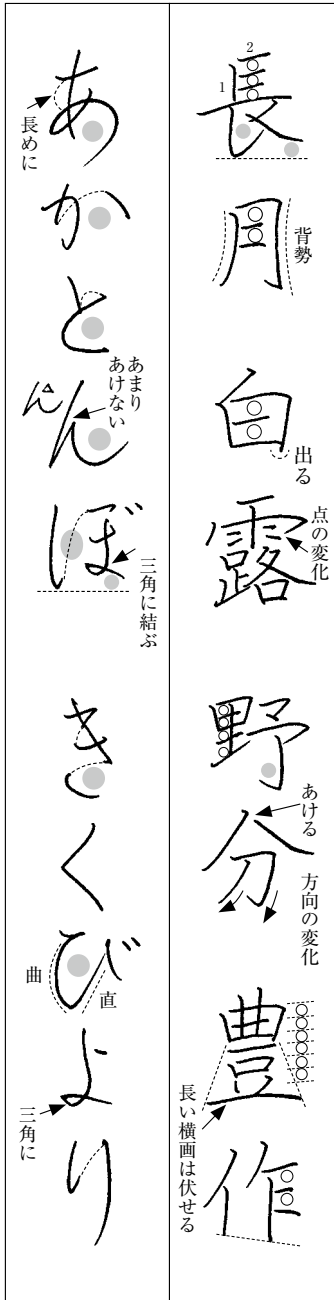
(6級〜10級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪 春書 (つけペン)



〈解説〉



〈読み〉

ながつき はくろ のわき ほうさく  
長月白露野分豊作 あかとんぼ きくびより

〈出典〉

『最新 俳句歳時記』

〈解説〉

「長月」：陰曆九月の異称。「白露」：二十四節気の一つ。白く露の結び始める頃で、九月七日頃。「野分」：秋の暴風で、野の草を吹き分ける意。主として台風のこと。「菊日和」：秋、菊の花が咲く頃の好天気。※ペンを大きく動かし、伸びやかに書きましょう。

用具

つけペン、万年筆またはデスクペン、  
ボールペンも可 インクは黒色

用紙

ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

◆次号課題予告◆ 神無月 刈田 新蕎麦 きりたんぼ うんどうかい (課題は変更することがあります。)





想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故  
 得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜  
 多是大神呪是大明呪是無上呪是無等等  
 呪能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜  
 多呪即說呪曰  
 揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提薩婆訶

般若心經

奉為二百萬卷寫經發願成就

為 (お願いごとをお書きください)

(住所をお書きください)

(お名前をお書きください)

謹寫

※ 名 宛ててお写經を二に写經事。にお りください。  
 めて納經される方は「お写經を二に写經事。にお りください。」  
 の作 用させていただきますので、ご 力下さい。

■用紙

「般若心經」、「延命十句觀音經」用紙は三多軒で用意  
 しております。

\*注文先…三多軒 (FAX 03-3239-8273、  
 ☎03-3265-5493)

■用具

つけペン、 または スペン、 ーペン、  
 ン は

■送り先

〒101-8358 東京都千代田区西神田二丁目三  
 公益財団法人日本書道教育学会「写經事務局」宛  
 (は赤で)

□納經について

納經をご の方は一巻につき五〇〇を 振替で  
 ご の、「振替 明書」を写經作品に  
 てお送り下さい。

☎03-3234-3919

□お問い合わせ

号 〇〇一七〇一〇五四二三三  
 (財)日本書道教育学会 写經事務局

(までの振 用紙 着用 です)

\*写經専用振替用紙は 用 (大 12、2、3、5)  
 に住 を し、 2 手を貼 して写經事務局  
 までご ください。

きりとり

納經連絡用紙

公益財団法人日本書道教育学会  
 二百萬卷写經実践推進委員会事務局

住所	納經者氏名	ふりがな
〒 □□□□ □□□□		
電話番号 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	雅号	ふりがな

# 随意課題

写経研究室 基礎・専攻コース（全員）

左の「延命十句観音経」か前ページの「般若心経」のどちらかを選んで清書し出品してください。

草薙北望先生書

延命十句観音経  
 観世音南無佛与佛有因与佛  
 有縁佛法僧縁常楽我浄朝念  
 観世音暮念観世音念念従心  
 起念念不離心



百萬卷寫經發願成就

穎興院殿犀水啓道大居士靈位證大菩提也

住所 東京都千代田区西神田二ノ二二三

氏名 山本太郎敬寫

※納経のしかた、用紙用具については前ページと同じです。

※バーコード出品券と月別出品券②の2枚を貼って出品してください。

## 〈読み〉

延命十句観音経

観世音 南無佛 与佛有因 与佛有縁

佛法僧縁 常楽我浄

朝念観世音 暮念観世音 念念従心起

念念不離心

## 〈大意〉

観世音 仏に南無したてまつる 仏と因あり 仏と縁あり 仏と法と僧との縁によつて 常・楽・我・浄の四徳を得ん

朝な朝なに観世音を念じ夕な夕なに観世音を念じ 念々、心より起こり 念々、心を離れず。

心を離れず。